

強行採決に反対し、「戦争法案」の廃案を求める決議（案）

今年、アメリカによる広島・長崎への原爆投下、そして日本が引き起こしたアジア太平洋戦争の敗戦から70年の節目の年です。

この侵略戦争への反省から、日本国憲法が生まれ、憲法9条で「戦争と武力の行使は永久に放棄する」「国の交戦権はこれを認めない」と決めました。

ところが今安倍政権は、その憲法9条を法律で破壊しようとしています。憲法が定めた手続きを無視し、憲法は為政者を縛るものであるという立憲主義を真っ向から否定しようとしています。

広島に生きる私たちは、世界中の争いが一つでもなくなることを願っています。市民をないがしろにし、命を危険にさらす国づくりに断固反対します。戦争法案の強行採決は絶対に許しません。戦争法案は必ず廃案にしましょう。

2015年7月12日

ストップ！戦争法 7・12ヒロシマ集会参加者一同